

市民に寄り添い、疑問に応える議会マガジン

2024年第1号

VOICE

北名古屋市議会
市政クラブ 会報

声を聞き、
声を届ける。



令和6年度 市政クラブ施策要望

特集 医療法人 済衆館と研修会

特集

栄和幼稚園・北名古屋市手をつなぐ育成会・
北名古屋市商工会・農業委員会との意見交換会

市民が主役のまちづくりを みなさんとともに進める

財政は、知恵と工夫で最大限の効果を発揮しよう

市政クラブ会長
神田 薫



市政クラブは、議員10人が所属する議会最大会派であり、議会のリーダーとしての矜持のもと「市民・地域の声を行政に反映し、市民が主役のまちづくりをもにすすめる」が政治姿勢です。昨今の少子高齢化・人口減少等社会環境の変化や、教育、医療、介護、出産・育児、税、まちづくりなど、住民ニーズにいち早く対応し、山積する課題解決のため、私たち所属議員は日々切磋琢磨し議論を重ね、政策実現に向けて議員活動に取り組んでいます。

反映を期待し市長に提出しました。

一方、市当局においても太田市長の下、伊藤副市長が就任され、強固な行財政基盤を目指しつつ、昨今の社会環境の変化に対応し、本市に見合った住民サービスの充実を図るとともに、市民対話集会を開催するなど共創のまちづくりを推進されています。言うまでもなく計画的な予算編成に求められるのは、最小の費用で最大の効果を発揮することです。

今年度は、まちづくりの各分野において、市内で活躍されている団体の方々と意見交換会を行い、課題解決の探求を図ってきました。また、先進的な取り組みに学ぶ研修会に参加し、研究を行ってきました。こうした活動とともに、多くの市民の方々の声を集約し「市政クラブ要望書」にまとめ上げ、来年度予算への

私たちの暮らしは市政と密接に関わり合っています。市民の代表である議員の役割を一言で表すなら、市民の声を市政に反映させ、行政を監督することです。また、市民生活がより良くなるよう、所属議員10名は山積する諸問題の解決に向けて最大の努力をしております。また今後は、市民の声をより身近に聞くことができるよう議会報告会の開催に向け研究してまいります。

全国都市問題会議

「芸術、スポーツ
まちづくりにどう生かす」

10月12日
～13日

約一八〇名の自治体

関係者が一堂に会した八戸市公会堂

人口減少やインターネットの普及による生活様式の変化など、都市を取り巻く環境が大きく変わる中、文化芸術やスポーツを地域発展に活かす取組として八戸市では、①伝統的な三社大祭の山車 ②スケートを始めスポーツ文化 ③八戸市美術館等で人が人を呼ぶ賑わいを実現しています。

同時に、プロスポーツの使命を理解する事で、地域資源を積極的に活用しながらスポーツで地域を変えています。



八戸三社大祭の山車



令和
6年度

共創のまちづくりの施策要望書

新型コロナウイルス感染症により、市民一人ひとりが「つながりあう」ことが困難な時期が続き、オンラインを活用することなどが模索されましたが、現実にはリアルな体験やコミュニケーションの重要性が再確認されました。行政においては、少子高齢化や人口減少など、変化する社会環境や住民ニーズに対応しながら安定的に市民サービスを提供しつつ、強固な行財政基盤を確立するため、政策会議を創設され行財政改革を進めておられます。

課題は、少子高齢化や人口減少など、変化する社会環境と時代に合った財政運営です。最小の費用で最大の効果を発揮するためには、8万6千人超の市民生活・福祉向上のため関係各部が緊密な情報交換と連携を行い、「選択と集中」による予算編成が必要と考えます。市長のリーダーシップを発揮し副市長とともに、断固とした改革を進めていただきますよう強く要望します。市民が主役となるまちづくり、共創のまちづくりを共に進める施策を要望書にして提出しました。

た。

主な要望は ①自治体DXで行政サービスの向上と業務の効率化 ②自治会との共創 ③住民目線で行う公共施設の統廃合 ④自立促進の市民健康 ⑤市民が納得する社会福祉 ⑥人材育成につながる学校教育 ⑦商工会との協働契約 ⑧特色ある都市整備 ⑨農地の保全および農業振興など令和6年度の予算編成に向けて、市政クラブから「共創のまちづくりの施策要望書」を太田市長に提出しました。



おんでやんせ 八戸 だにや

**市政クラブは、
北名古屋のまちづくりに
市民と一緒に行動して行きます**

●「地域社会の分母としての文化をみんなで見出し」「人の心を動かす」実践として市民が主役となって、知恵を絞り地道にトライしていきます。

●北名古屋市には、昭和博物館・芸術大学・若手経営者ら地域のコミュニティ拠点で支えてくださる住民の方々と共に、文化・芸術・スポーツを通して北名古屋が賑わうきっかけになればと思っています。

救急医療

医療法人済衆館と研修会

8月30日

ほんとに北名古屋の行政の方々
はじめ地域包括ケアに携わる方々は
よく頑張っておられます。

高齢者人口の増加に伴い、救急医療（搬送と時間外患者）の需要が高まっています。「救急医療の現状と今後」を研修しましたので報告します。

●救急医療の体制

初期（軽症） 軽度の救急患者への診察（外来診療）

二次（中等症） 24時間・365日救急搬送受け入れ（入院必要）

三次（重症） 都道府県知事より指定の医療機関（3週間以上の入院治療）

●救急現場緊急度

赤（緊急） 生命危機に瀕してる

黄（準緊急） 時間経過により生命に影響

緑（低緊急） 受診が必要

●救急医療の現状と課題

単身者の高齢者や要介護者の増加により、退院先が決まらず「出口問題」が発生

- ① 病態が複雑に入り込んでいる
- ② 社会的背景を引きずっている

老々介護・単身独居・息子の引きこもり虐待・貧困など

●増加する高齢者救急（軽症、中等症）

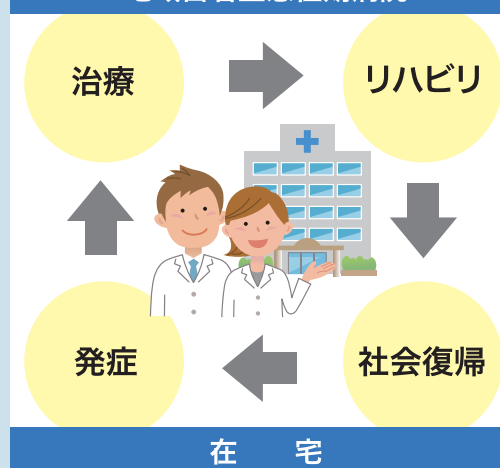


理事長
今村 康宏さん



医療法人済衆館 済衆館病院
鹿田西村前111 ☎21-0811

地域密着型急性期病院



●民間病院の得意分野
（二次救急、高齢者医療）

● 済衆館の救急医療

1. 救急搬送は徐々に増え、時間外も増加傾向
2. コロナ禍前も後も 夏と冬が多い
3. 救急搬送されると約30%が入院
4. 北名古屋市市民が約58%利用
5. 「救急車」や「119番」出動のうち
当院搬送率28% 応需率92%

● コロナとの闘い

1. 第1波で、いきなり「院内感染発生」
2. 救急外来陰圧テント3基設置
3. 待合室1人1室ずつ3棟用意
4. 検体採取部屋を自作

● 20年かけて病棟機能を分化し、

各患者さんに合った機能を持つ病棟に
入院してもらい、社会復帰を促す

337床＋介護医療院38床

(医療と介護＝理想のケア)

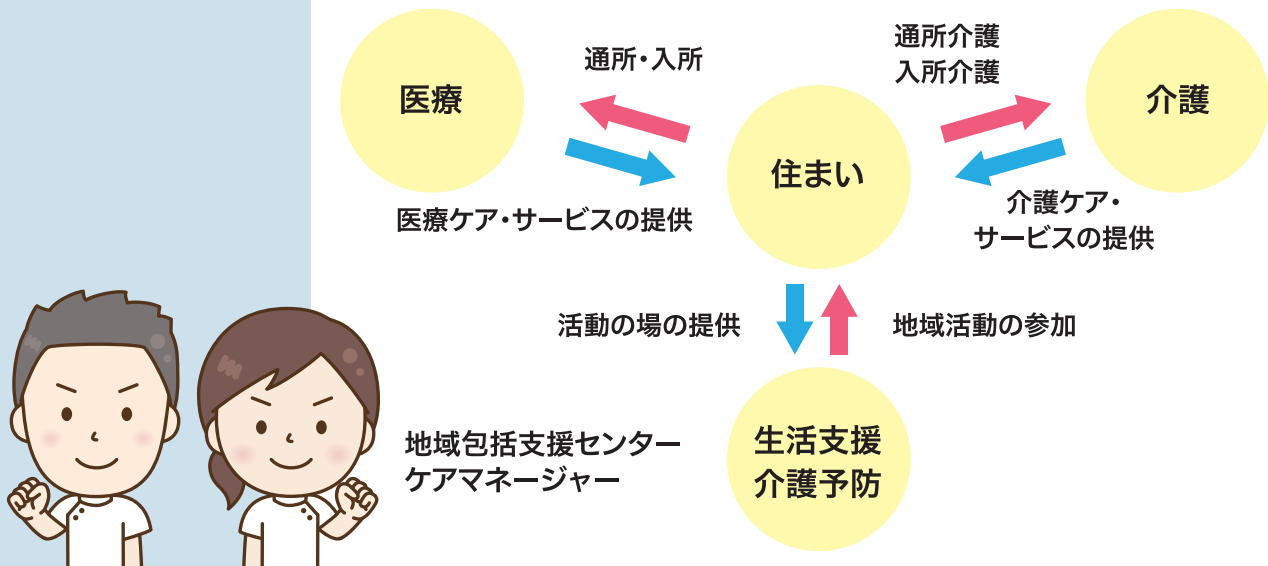
● 現場の活躍

サイレンなしで当院の救急車が出動

● 施設、クリニックなど担当者(医師や看護師等)
から情報がある場合

● 2023年10月から一般からの
要請に対しても出動

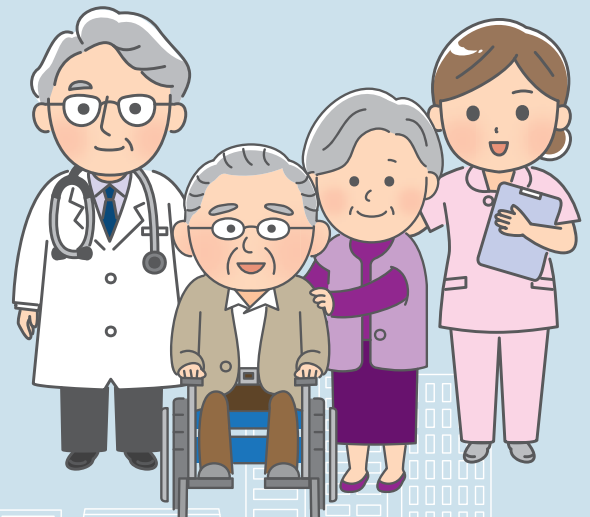
地域包括ケアシステムのイメージ



市政クラブは自立支援型 地域ケアを応援します

「医療と介護付き」は、高齢者の状態に合わせて「治療から介護・終末期まで」医療機能が手厚く提供できることから高齢者福祉の理想と言えます。また、高齢者の移動能力の低下に伴い、移動手段の確保についても高いハードル・課題があります。

市政クラブは、少しでも不安解消に寄り添い、自立支援型地域ケアを応援して行きます。



幼児教育

栄和幼稚園と意見交換会

8月24日

個々の家庭の状況を受け止め

子育ての喜びを味わえる

子育て支援・保護者支援の充実を

コロナ感染拡大や、社会環境の影響をうけて子どもや保護者の生活や意識が大きく変化しており、母親の子育観に関連している事が指摘されています。

現場の声

●子供はいつも母親の愛情を求めています
愛情とアタッチメント(愛着)は違う

●人間関係のつながりが薄れ

コミュニケーション不足になっている

①マスクの習慣で表情の読み取りが難しくなった

②黙食でコミュニケーションを楽しむ時間がなくなった

●親と子の療育クラスを作り、

子ども理解と親育てを行っている

●家庭の孤立を避け、親が子育てを楽しむ環境を作る

●仕事の有無にかかわらず母親は

自分の生き方を模索

子育てとともに

自分の生き方も大切にしたい

現場の要望

幼稚園・保育園だけでなく

幼児を取り巻く全ての人たちの

情報交換の場づくりを検討願いたい。

園長
松本 正子さん

11月30日に
文部科学省
令和5年度教育者表彰
されました



栄和幼稚園 二子栄和20 ☎22-7133

市の対応は

①福祉関連課を東庁舎に集約し、福祉と教育に特化します

②「福祉こども部」の新設

「市政クラブ」は

子どもを真ん中に園と保護者が子育てについて語り合い、受け止め合いながら地域の保育拠点となるよう、しっかり見守り「環境づくり」「人づくり」を応援して行きます。



障がい者 支援

北名古屋市手をつなぐ育成会と 意見交換会

9月4日

障がいのある子どもから大人まで、
みんなが地域の中で安心して
暮らし続けられるように、
話し合いを続けています

親の高齢化とともに、子どもたちの高齢化障がいの
重度化が大きな課題となっています。知的障がい者
と家族が安心して生活ができるよう、育成会の皆
様の声を報告します。

親の声

●日中サービス支援型グループホームについて

重度障がいや高齢化を見据えた住まいの場とし
て制度化されたグループホームです。医療的ケ
アを必要とする人も含めて重度の知的障がい
を持つ人や、高齢になった知的障がい者がグル
ープホームに入居できる「日中サービス支援型グ
ループホーム」の整備を希望します。

●特別養護老人ホームについて

高齢になった知的障がい者は特別養護老人ホー

ムに入所することが考えられますが、高齢者施設が
知的障がい者入所を受け入れるには、多くの課題が
あります。
障がい者に対応できる専門的な知識や技術を持つ
職員を配置し、障がい者専用のユニットを設置する
ことを希望します。

親の望み



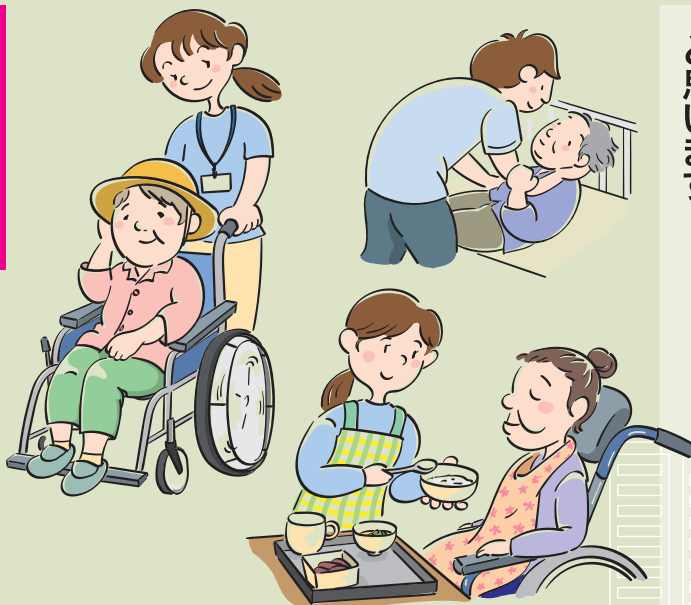
北名古屋市
手をつなぐ育成会 会長
前田 洋子さん

知的障がい者は標準的な加齢よりも
10歳から20歳程度、高齢化の症状が現
れるのが早いと言われています。私た
ち親は、子どもの老後の暮らしと最期
の過ごし方の見通しがついて初めて、
自分たちの老後を考え始めます。
住み慣れたこの北名古屋市で、子ども

たちが暮らしの見通しを持ってこれか
らも生活していけるように、皆様のこ
理解とご支援、ご協力をいただきたい
と思います。

「市政クラブ」は

親ごさんの生の声を聴き、障がいのあ
る方が安心して暮らせる社会を築くた
めに障がい者の権利擁護に取り組み、
互いに理解し支え合う、孤立しない環
境づくりを応援してまいります。



地域経済

北名古屋市商工会と意見交換会

9月19日

新しい時代にふさわしい

地域総合経済団体として

地域経済の活性化に

商工業者数2908社のうち会員数1579

社 組織率54.3%の北名古屋市商工会は、

地域経済の一環として市内経済の活性化に向けた地域情報ポータルサイト「KISPO（キスポ）」の運営や北名古屋市の実施するクーポン券事業にも積極的に取組んでおられます。現場の要望を報告致します。

要望

●名産品の開発に向けた支援

名産品の開発による地域の活性化を目指して、名産品開発委員会を創設し、チーム北名古屋として研究開発を推進するための支援をお願いしたい



●経済対策支援事業への継続支援

地域商工業者の情報発信と販売促進等に寄与するため、地域情報ポータルサイト「KISPO（キスポ）」の運営を推進していくための支援をお願いしたい

●官民交歓会への継続支援と拡充

地域経済の活力創出に向け、行政と市内の中堅・中小企業が業種の壁を越えた交流を促進する官民交歓会の開催について、継続支援をお願いしたい

●小規模事業者に向けた事業承継支援の強化

地域商工業者の技術や資産を次世代に引き継ぐため、円滑な事業承継の支援を強化していくための協力・支援をお願いしたい

●商工祭開催への支援

地域商工業者のPRと市内小学生の育成を目的とした、「商工祭」並びに職業体験事業「こどもール北名古屋」の開催について、継続支援をお願いしたい



「市政クラブ」は

●地元自治体との連携による経営支援体制確立と地域商工業振興に対し北名古屋市商工会の施策事業をしっかりと支え、要望を行政につなげ市内小規模事業者の経営を支援、サポートしていきます

●名産品の創出と共に農地の保全と農業振興も同時に考え、行政＋地域住民＋地元商工会という6次産業の様に生産から消費まで循環型の仕組みづくりが出来るようサポート、発信していきます



副会長
酒井 良明さん



副会長
木島 偉博さん
よしひろ



会長
横手 政孝さん

北名古屋市商工会 九之坪竹田180-1 ☎25-0001

北名古屋市商工会地域情報ポータルサイト



アプリの
ダウンロードは
こちらから



都市農業 振興

農業委員会と意見交換会

10月3日

無秩序な農地転用に伴う農地と
住宅地との混在化等により
地域コミュニティが弱まっています

今の現状に危機感を持っています

● 高齢化や後継者・担い手不足が深刻な状況
です

● 調整区域内の農地が毎年2ha〜3haずつ駐
車場や資材置場等に農地転用されているこ
とに伴い、農地面積および水田の貯留機能
は年々減少傾向

● 農業に関心を持つ市民は多く存在しています
● 特産物のブランド化や高付加価値化が必要
不可欠

発言

● 無秩序な開発を制限する施策がなく
農地が「虫食い」状態になっている

● 農振地域がないので、法に基づいた
転用は認めざるを得ない

● 市は調整区域内の農地につき
一筆毎に10年先の担い手を明確にする
「地域計画」の策定を検討している

● 法改正による農地取得要件の
緩和により北名古屋市新たに
1名が就農されている

● 水田は委託することも可能だが、
畑は小さな区画が多く、委託が難しい

要望

● 都市計画マスタープラン等の進捗を
検証願いたい

● 転用目的が「資材置場」「土砂置場」に
おいて、一定の緑地帯の創設

● 立ち枯れ病等の防止薬剤について
市からの補助を検討願いたい

「市政クラブ」は

● 北名古屋都市農業振興基本計画
や都市計画マスタープランが「絵に
描いた餅」にならないよう市政クラ
ブの施策要望に加えました

① 「活用を推進する農地」「保全する農
地」に位置付けられた地区の農地の
現状を把握する為にも都市計画マス
タープランの中間報告を求める。

② 令和7年3月末までに策定予定の地
域計画の進捗状況とスケジュールを
示して貰いたい

● 農地の保全と農業振興の為、農家が
新規就農者に農作業を教え、耕作放
棄地も使って地元野菜を生産から消
費まで循環型の仕組みを作り上げれ
るよう発信していきたい



代表委員
柴田 一彦さん



会長
長瀬 一雄さん



総務部会

市政クラブの総務部会は、北名古屋市に属する、総務部・財務部の調査を行い、議案・請願等を調査する部会です。2つのテーマで10月23日・24日の2日間において常任委員会の視察を行いましたので部会報告をします。

※1 DX推進の 取組みについて

●目的

DX推進で「住民の利便性の向上」「業務効率化」「人的資源を再配置し行政サービスの更なる向上」に取り組んでいる米子市を視察しました。

《視察先》

- 鳥取県米子市
- 市制96周年
- 人口／145,384人
(令和5年7月末現在)
- 世帯数／68,669世帯
- 面積：132.42km²



●視察内容

- DX推進計画策定及び計画推進の組織体制
- DX推進に合わせた機構の見直しの実施について
- DX推進のための人材確保及び職員の意識改革・スキルアップ方法
- 保育園業務支援システムの導入の取組

そこで私たちはこう考えています

- スマート窓口の導入により市民側職員側の大きな負担軽減になる
- DX推進には、高齢者に向けたデジタルデバイド対策が必要※2
- 専門部会は常に行政事務の改革や移管等、積極的に行うことが重要
- 保育園業務支援システム導入で、負担軽減や人員確保に期待できる

地域自主組織について

●目的

「地域崩壊の危機から住みよい地域づくりへ」を合言葉に新たな地縁モデルの

結成に取り組んでいる島根県雲南市を視察しました。

《視察先》

- 島根県雲南市
- 市制19周年
- 人口／35,279人
(令和5年7月末現在)
- 世帯数／13,575世帯
- 面積／553.18km²



●視察内容

- 基礎的基盤の整備(組織化・活動拠点など)
- 制度改善による活動基盤の強化
- 新しい公共の創出と持続性
- ソーシャルチャレンジバレーの取組

そこで私たちはこう考えています

- こども・若者・大人・企業4つによるチャレンジの連鎖が必要
- 住民主体のまちづくりを参考に、本市でも積極的に取り組む
- 小規模多機能自治の「地域の課題はその地域で解決する」は重要
- 10年後、20年後も市民みなで支え合えるまちづくりに取り組む

※1 DX

ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でよりよい方向に変化させること

※2 デジタルデバイド

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差

令和6年度要望項目

自治体DXの推進

- BPR取組を図り、業務効率化と改善
- デジタル人材確保と育成
- 情報サービス提供推進とオンライン化

きたバス事業

- 高齢者・免許証返納者への無料化の実施および日曜・祝日も含めた、お出かけ支援
- 近隣市町へアクセス連結に向けた取組

自治会との共創

- 自治会加入者の減少を食い止める抜本的な対策検討、自治会と協力連携した対策の実施

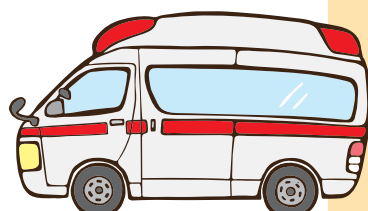


歳入確保の取組

- ふるさと納税制度の返礼品および地元特産品の発掘・育成の官民連携による推進

二次救急施設

- 市民の安心安全を旨とした二次救急施設の推進



公共施設の統廃合

- 機能を複合化することで市民サービスの維持向上の実現
- 借地料削減に向けて早急な見直し

内部通報の公平適正化

- 公平適正な判断を下すため外部有識者を交えた委員会の創設



委員
神田 薫



委員
沢田 哲



委員長
浅利 公恵



建設部会

市政クラブの建設部会は、北名古屋に属する、防災環境部・建設部の調査を行い、議案・請願等を調査する部会です。2つのテーマで10月18日・19日の2日間において常任委員会の視察を行いましたので部会報告をします。

都市農業について

●目的

都市化が進む北名古屋。今ある危機、食料不足と水害に農地、農業どう活かす！

都市化が進む日野市では、行政・農業者・市民それぞれの役割、責任を明確にして、みんなで「農のあるまちづくり」に取り組んでいます。



都市農業振興課長
あごう 吾郷 勝さん

《視察先》

- 東京都日野市 ■市制60周年
- 人口／187,477人（令和5年7月末現在）
- 世帯数／9,314世帯
- 面積／27.55km²

●視察内容

○農業振興プランだけでは計画だけに
なりがちなので、平成10年（1998年）全国で初めて農業を基本産業に位置づけ「緑と文化の市民都市」を目指し「農業基本条例を制定」した。

○都市の周辺こそ農業者と住民、消費者が共存する場であり、都市農業は生活・環境・教育問題等に広がる。その為、農地と担い手確保および所得向上を目指し、学校給食に地元野菜を導入して「生産から消費まで皆でやる」を実践している。

そこで私たちはこう考えています

■レジャー農園で収穫された農産物を各地域にある公民館などで消費できるようにコミュニティづくりを応援していきたい。



地産地消の昼食

■農家の所得向上が鍵。農業法人化、農地の集約による効率化と生産から加工販売までを一体的に行う6次産業の支援をしていきます。

■農業委員会が行う農地マッチング事業をサポートします。

インクルーシブ公園について

●目的

全ての子どもたちが分け隔てなく遊べる公園で支えあう
共創社会の実現を目指す

〈市制50周年記念事業〉 設置場所として駐車場があり、平坦な地形で、市の中央部にあり、行きやすい場が適切。市民の理解と協力が第一です。



みどり公園課長
矢野 尚さん



複合遊具

《視察先》

■埼玉県三郷市 ■市制51周年

■人口／142,001人(令和5年7月末現在)

■世帯数／67,414世帯

■面積／30.22km²

●視察内容

○「緑の基本計画」の策定をきっかけに有識者、関係者で「懇親会」を立ち上げ、利用状況や来園者らの意見交換を行う。

○「三郷インター南部土地区画整理事業」により物流施設多く、大型車両や見通し等安全確保が課題となった。

○広報誌、HP、SNS、パンフレットで英語・中国語・韓国語版を作成。メディアから取材を受け発信、理解醸成に務めた。
○「フェンスで安心・子供同士の交流、譲り合い等」好意的に推移。

そこで私たちはこう考えています

■遊ぶ子どもが主役だから、楽しんでいる子ども達の行動や遊び方、遊びの要素等に目し、設置場所、財源、維持管理者、利用率の向上等を有識者、関係者、地元の人達と「懇談会」を立ち上げ、納得いく意見交換が第一歩だと考えています。
■東西に一箇所ずつ設置計画を提言していききたい。

令和6年度要望項目

誰もが住みたいベッドタウン

- 住み心地よい街並み
- インクルーシブ公園

緑化推進を進めよう

インフラ整備

- 河川、遊歩道
- 西春駅東側開発の促進
- 側溝の整備
- 地域からの土木要請

水害予防が第一

共創のまちづくり

- 商工会との人的交流
- 地域・自治会との共助

住民が主役です

農地の保全

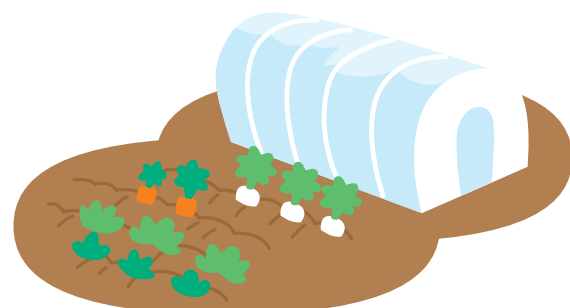
- 新規就農者の育成と収入確保
- 雨水貯留機能の確保
- 地域計画の進捗とスケジュール
- 地産地消の循環型の仕組み

農業振興のためにも

火葬場の検討

- 火葬場の確保
- 火葬費用の助成
- 災害時の広域火葬計画

何と言っても近場



委員
熊澤 真澄



委員
桂川 将典



委員長
井上 一男

福祉・教育部会

市政クラブの福祉・教育部会は、北名古屋に属する、市民健康部・福祉部・教育部の調査を行い、議案・請願等を調査する部会です。2つのテーマで10月16日・17日の2日間において常任委員会の視察を行いましたので部会報告をします。

重層的支援体制について

●目的

ひきこもり8050問題をはじめ、市全体で相談者本人に伴走し、寄り添いながら、地域で支え合う支援体制の構築について、取り組んでいる大阪府堺南市を視察しました。

《視察先》

■大阪府堺南市 ■市制32年
■人口／51,039人（令和5年6月30日現在）
■世帯数／2,414世帯
■面積／36.17km²

●視察内容

○どこに相談してよいか判らない市民のために「くらし丸ごと相談室」が設置されており、市民の駆け込み寺の役割をしています。

○各案件ごとに様々な部局が話し合い、解決に向けて密に連携しています。

そこで私たちはこう考えています

■市民の相談に横断的に解決する、「くらし丸ごと相談室」の機能・仕組みを提案します。

■ひきこもりに関する相談と支援をしていきます。



基幹相談支援センターについて

●目的

障がい者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるように、個別の支援をしながら地域力の向上に取り組んでいる大阪府堺市を視察しました。

《視察先》

■大阪府堺市 ■市制134年
■人口／81,286人（令和5年7月1日現在）
■世帯数／3,715世帯
■面積／149.83km²

●視察内容

○7つの行政区を有し、各区ごとに基幹相談支援センターを配置し、さらにサポートする総合相談情報センターを配置している。

○相互の連携を図るための協議会が設置されており、地域の情報を収集したり周知するのに大きな機能を発揮し



ている。

○自治会やご近所等の地域社会に依存する仕組みではなく、「相談員や事業所の職員が地域の見守りをする」というイメージ。

そこで私たちはこう考えています

■事案事例の蓄積や部局間の連携・対応策を行うには、やはり部局間の調整できる人材の育成が大切であることが再認識できました。

■市民個々の声を聴く手段として「つぶやきシート」を提案していきたい。

令和6年度要望項目

市民検診率の向上

- 検診案内や予防接種の手続きの簡素化を図り、受診率の向上

デジタル技術を活用しよう

障がい者支援の向上

- 日中サービス支援型グループホームの更なる拡充
- 重度障がい者や高齢化する障がい者が安心して暮らせる場の確保

地域で安心の場を

児童福祉の構築

- 保護者と保育園・学校との連絡や相談事にスマホの活用
- スマホで相談記録等を職員間で情報共有

デジタル技術を活用しよう

学校関連施設の有効活用と環境改善

- 放課後の小学校運動場の有効活用と体制整備
- 体育館のエアコン設備

教育は先行投資

子供の安全を守る環境づくり

- 家庭と学校と地域の連携を進める
- 地域の担い手となる人材の発掘

地域で子供を守ろう



委員
清水 晃治



委員
永津 正和



委員
大野 厚



副委員長
福岡 康

市政クラブ所属議員



神田 薫 かねだ かおる

高田寺1600-81 TEL 25-5866

令和5年度 市政クラブ 会長
令和4年度 議長
令和3年度 市政クラブ 会長
令和2年度 建設常任委員会 委員長



福岡 康 ふくおか やすし

北野神明前60 TEL 22-4793

令和5年度 市政クラブ 幹事長
令和4年度 副議長
令和3年度 市政クラブ 政調会長
令和2年度 総務常任委員会 副委員長



井上 一男 いのうえ かずお

九之坪上吉田62 TEL 23-8968

令和5年度 市政クラブ 政調会長
令和4年度 総務常任委員会 副委員長
令和3年度 副議長
令和2年度 市政クラブ 会長



沢田 哲 さわだ さとし

鹿田坂巻234 TEL 22-6464

令和5年度 総務常任委員会 副委員長
令和4年度 予算決算常任委員会 委員長
令和3年度 議長
令和2年度 議長



大野 厚 おおの あつし

六ツ師471 TEL 21-3456

令和5年度 議長
令和4年度 建設常任委員会 委員長
令和3年度 建設常任委員会 委員長
令和2年度 福祉教育常任委員会 委員長



桂川 将典 かつらがわ まさのり

鹿田坂巻153 サニーヒルズ坂巻201
TEL 090-8532-6156

令和5年度 議会改革推進協議会 会長
令和4年度 議会改革推進協議会 会長
令和3年度 監査委員
令和2年度 市政クラブ 幹事長



永津 正和 ながつ まさかず

熊之庄城ノ屋敷3015 TEL 21-2565

令和5年度 予算決算常任委員会 委員長
令和4年度 市政クラブ 会長
令和3年度 予算決算常任委員会 委員長
令和2年度 予算決算常任委員会 委員長



熊澤 真澄 くまざわ ますみ

井瀬木1029 TEL 21-3492

令和5年度 副議長
令和4年度 市政クラブ 幹事長
令和3年度 福祉教育常任委員会 委員
令和2年度 建設常任委員会 副委員長



浅利 公恵 あさり きみえ

六ツ師松戸2 TEL 23-2210

令和5年度 総務常任委員会 委員長
令和4年度 福祉教育常任委員会 委員長
令和3年度 市政クラブ 幹事長
令和2年度 市政クラブ 政調会長



清水 晃治 しみず こうじ

鹿田新宮境内附364-1 TEL 24-1451

令和5年度 監査委員
令和4年度 市政クラブ 政調会長
令和3年度 総務常任委員会 副委員長
令和2年度 副議長

市政クラブは、これからも皆さまとともに、魅力あるまちづくりを目指し、安心・安全に暮らしていただけますよう日々、努力して参りますので、より多くのご意見をお寄せくださいますようお願い致します。

市政クラブは、議員の原点を目指し各種団体等の意見交換（研修会を含む）と県外視察を実施し、市政クラブ内で討議を重ね、調査結果・研究内容をまとめ令和6年度施策要望書として市長に提出しました。そして一年間の活動を「VOICE」にまとめました。

この「VOICE」を読み、心に感じたことを是非市政クラブの議員にお聞かせください。皆様の言葉を大切に、私たち市政クラブは市民の皆様に未来への夢・希望を持って頂けるように「政策提言や要望書」で執行部に迫ってまいりますので何卒応援のほど宜しくお願い致します。

私たちは、①付託議案の審査に生かす為に、普段から北名古屋市の現状と問題点について熟知し、②問題のある事項について調査し、その対策をまとめ提言すること。③執行機関を監視し、その適正な運用をチェックすることに心掛けております。

市政クラブは、議員の原点を目指し各種団体等の意見交換（研修会を含む）と県外視察を実施し、市政クラブ内で討議を重ね、調査結果・研究内容をまとめ令和6年度施策要望書として市長に提出しました。そして一年間の活動を「VOICE」にまとめました。

編集後記

政調会長 井上一男

議会の地位は、住民を代表する公選の議員をもつて構成される地方公共団体の意思決定機関であります。心構えとして「住民の福祉を考え、住民の立場に立つて判断しなければなりません」。

私たちは、①付託議案の審査に生かす為に、普段から北名古屋市の現状と問題点について熟知し、②問題のある事項について調査し、その対策をまとめ提言すること。③執行機関を監視し、その適正な運用をチェックすることに心掛けております。

市政クラブは、議員の原点を目指し各種団体等の意見交換（研修会を含む）と県外視察を実施し、市政クラブ内で討議を重ね、調査結果・研究内容をまとめ令和6年度施策要望書として市長に提出しました。そして一年間の活動を「VOICE」にまとめました。

この「VOICE」を読み、心に感じたことを是非市政クラブの議員にお聞かせください。皆様の言葉を大切に、私たち市政クラブは市民の皆様に未来への夢・希望を持って頂けるように「政策提言や要望書」で執行部に迫ってまいりますので何卒応援のほど宜しくお願い致します。

皆様のご意見、ご感想をお聞かせ下さい info@shisei-club.com

この小冊子は政務活動費を活用して印刷・配布されています。

